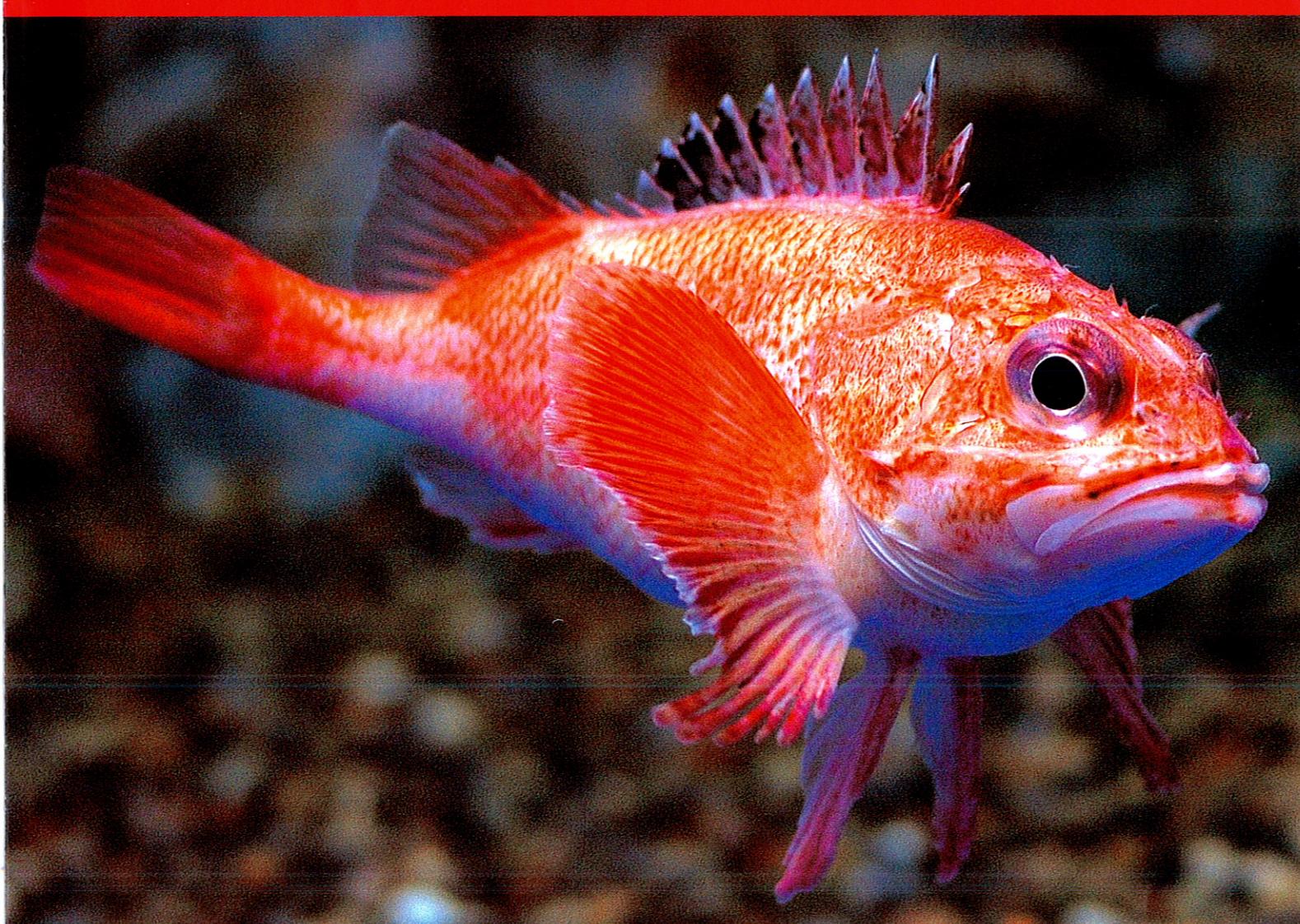


海・川・湖その世界とのふれあい

マリンスノー MARINE SNOW

No. 27
2007.3.31



● 目次

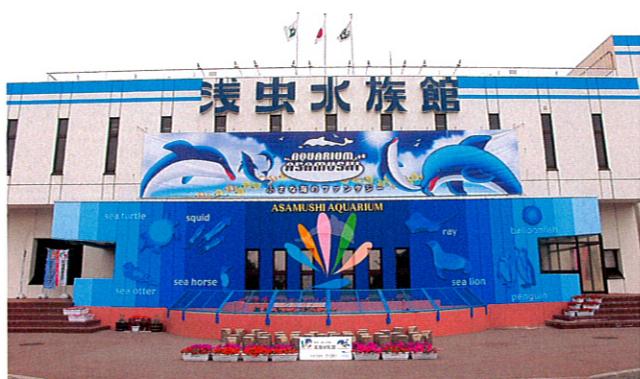
| | | | |
|--------------------------|---|----------------------|---|
| 新しいスタート、 様々な新企画 | 1 | 浅虫の海の生物たち (27) | 6 |
| 平成18年度 特別企画展 | 3 | 動物紳士録 | 6 |
| トピックス | 4 | 浅虫水族館のできごと .. | 7 |
| 催し物 | 5 | | |

新しいスタート、様々な新企画

平成18年4月から浅虫水族館は新しくスタートしました。今までの青森県主導の経営から指定管理者となった青森水族館管理株式会社（開館当初から管理に携わっていた職員が会社を設立しました。）が一定の条件の下で経営を任せられることになったからです。これにより浅虫水族館は様々な試みをすることが可能になり、早速実施した企画をご紹介します。

正面玄関のリニューアル

平成18年4月からの新たなスタートに合わせて正面玄関の外壁をリニューアルしました。この場所は団体のお客さんが来館記念に写真を撮っていく場所で、以前より来館日の日付の入ったパネルを置いたりしていましたが、もう少し絵になるバックになれば記念写真もよりよいものになるのではと、新たにデザインし正面玄関のイメージを一新しました。新しくデザインされた外壁は、これから海の中に入していくようなイメージでブルーを基調として代表的な展示生物のシルエットを配置しています。この正面玄関をバックに修学旅行や校外学習で記念写真を撮った子供たちには一生記念として残ることでしょう。



ホームページのリニューアル

当館のホームページは、平成9年に職員の手作りで開設されましたが、より見やすく、分かりやすいものを目指し、平成18年4月にリニューアルしました。新しいホームページではデザインを一新し、ページの左側にトップページが表示される「HOME」や「館内ガイドマップ」などの施設情報、「イベント案内」などのサイトマップが常に表示されるようになりました。そのため、以前のようにホームページ内で迷子になることは少なくなると思われます。今後も新しく

なったホームページをより快適に利用して頂けるように努力してまいります。



新マスコットキャラクター「ここる」誕生

「ここる」です。よろしく！

浅虫水族館の新しいキャラクターが決まりました。「水の中の生き物をイメージさせるもので、水族館にふさわしく、広く親しまれるデザインであるもの」をテーマにキャラクターのデザインを公募したところ全国から1,197点もの応募がありました。新キャラクターのモチーフはイルカ。愛らしいふくよかな体とつぶらな瞳がチャームポイントです。

また、名前は全国各地から696点もの応募があり、7月23日には命名者となった秋田県の鎌田奈緒子さんをお招きして命名式も盛大に行われました。名前の由来は「ここニ来タラ会える・・・」で「ここる」。皆さんに長く愛されるようなキャラクターに育てていきます。

昨年は「青森ねぶた」「弘前ねぶた」「八戸三社大祭」「五所川原立佞武多」などの夏祭りに参加しました。来年もいろいろなお祭やイベントに参加します。見かけたら、応援してね！





七夕水槽「あなたの夢、叶えます」

七夕水槽「あなたの夢叶えます」と題して、平成18年6月17日から7月7日までの21日間、七夕にちなんだ魚（シモフリタナバタウオ・ギンガハゼ・ホシゾラヤッコなど）を7種50匹展示しました。七夕といえば短冊に願いを。そこで、浅虫水族館では入館者



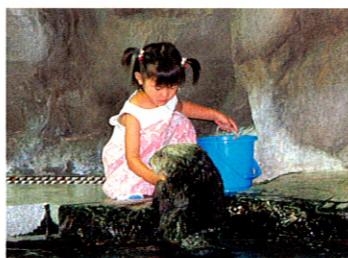
七夕水槽展示開始



504点の願い!!

1 「ラッコと握手をしたい」

(5才の女の子)



2 「カメの甲羅を掃除してみたい」

(主婦の方)



息子と一緒に甲らのお掃除

3 「着ぐるみ（浅虫水族館キャラクターこころ）に入って娘たちを驚かせたい」

(主婦の方)



おかあさんの声がする？

4 「イルカショーをしてみたい」

(9才と10才の女の子)

訓練風景



8月12日、
700人のお客様の
前で夢が叶いました



5 「二人の修学旅行。イルカといっしょに大好きな音楽を聞きたい」

(11才の女の子と12才の男の子)

6 「とっても楽しかった水族館、貸切で家族に見せたい」

(主婦の方)



浅虫水族館二時間限定貸切です。(5人)

7 「アシカと遊んだり、餌をあげたい」

(双子(9才)の姉妹)



バックヤードでアシカと間近でご対面

この他にもたくさんの願いがありましたが、やはり多かったのは「イルカ」に関するものでした。504点の中でこれは是非とも実現させてあげたいと思った願いがありました。それは、20才代の女性から「水族館で結婚式を挙げたい」というものでした。早速電話連絡をすると彼女は「やったー！本当ですか？」と大変喜んでいました。ところが数日後、彼氏から「まだ彼女の実家に挨拶に行ってないので・・・」という丁重なお断りの電話。彼女の短冊に託した切なる願いも「雨の七夕」となってしまいました。残念！！

平成18年度特別企画展

<海の忍者「カレイ」展>

青森県は日本海・津軽海峡・太平洋と三方を海に囲まれ、中央に陸奥湾を抱えています。このような本県の沿岸は国内有数のカレイ漁場としても知られ、実に5科35種にのぼるカレイ目魚類が記録されています。

休日の魚釣りや日頃の食卓で親しまれていながら、名前を覚えられる事もな



く、一口に「カレイ」と呼ばれてしまう地味な魚たち。そんなカレイの仲間に光を当てるため4月22日から6月18日まで開催しました。

今回の企画では「釣り好きな方」「お料理好きな方」に関心を持って頂くため、おなじみの種類の他にも、大型種オヒョウや幻のカレイと呼ばれるホシガレイ・マツカワなど全12種を展示し、利用方法や地方名に力を入れた解説を行いました。会場は刺網などの漁具や最新の釣り仕掛けが飾られ、地味なテーマながらも充実した展示となりました。また実際に家庭で役立つよう作成配布した、主要なカレイ類19種のイラスト解説資料も好評でした。



<縄文人と魚たち展>

「縄文人と魚たち展」を平成18年7月15日から9月24日にかけ開催しました。

三内丸山遺跡をはじめとして、最近の埋蔵文化財発掘調査によりしだいに縄文時代の謎が解明されつつあります。また、DNA鑑定などの技術の向上とともに貝塚より出土した動物の骨や植物の種子などの同定も容易となり、より鮮明に縄文人たちの生活の様子がわかつきました。その結果、当時の人々の食生活はバラエティーに富み、とてもグルメな人たちだったのではないかと思えるほどです。

今回の特別展では、そんなグルメな縄文人の食生活を主に魚介類に注目してご紹介しました。ヒラメ・マダイ・ホウボウなどの生体展示の他に、県内の貝塚から出土した全種の貝類を標本展示しました。

そして、青森県埋蔵文化財調査センターのご協力により借用させていただいた、石器や土器、釣針、装飾品、貝塚の剥ぎ取りパネルなど、貴重な文化財もあわせて展示しました。



<イルカたちの長い旅展>

「イルカたちの長い旅展～和歌山から浅虫水族館へイルカ搬入24時間を見再現～」を、平成18年10月7日から平成19年1月14日にかけて開催しました。

浅虫水族館のイルカは、『くじらの町』として知られる和歌山県の太地町から、およそ1,300kmの距離を約24時間かけトラックで運んで来たものです。今回の特別展では、イルカを安全に運ぶために工夫された輸送トラックの荷台内部を、実際に使用した数々の器材を展示して再現しました。イルカの体温の上昇と乾燥を防ぐためのシャワーリング装置が設置された専用コンテナ。獣医を含む5名の係員が体温や心拍数、そして水温などを定期的に測り、状況に応じて適切な処置を施すための器材や薬品類など。さらに、実際の輸送中の様子も映像で紹介しました。イルカがどのように長距離を運ばれて来たのかがわかつて頂けたのではないかでしょうか。

係員に見守られてやってきたイルカたちは、現在、イルカショーやいるか館で元気な姿を見ることができます。ぜひ会いにいらしてください。





●トピックス

「イルカと記念写真」・「パワー・オブ・ドルフィン」スタート！

平成18年4月1日より新しい取り組みとして「イルカと記念写真」を始めました。これはイルカショー終了後、イルカがステージに上がりポーズを取った横で、一緒に並んで写真を写すことが出来るものです。ただし、毎回定員20名とし、カメラを持参していただきます。一人250円と有料になりますが、イルカを間近で見る良いチャンスです。皆さんもこの機会にイルカと記念写真を撮ってみませんか。

またイルカショーも7月17日より変わりました。「パ



ワー・オブ・ドルフィン」と題して、ダイナミックなジャンプ類をオープニングとクライマックスにふんだんに取り入れました。さらに新しくテールキックとフライングディスクキャッチをいれることで、力強さを出しています。なお観客席をステージスクリーンに映して、お客様がより楽しくショーに参加出来るようになっています。ぜひ一度ご覧ください。



「立ち上がる〇〇」

「立ち上がる〇〇」。全国各地から次々と名乗りが上がり、社会現象となりました。

実は、当館にも個性的な動物があります。まずは、「立つラッコ」です。餌を少し高い位置に持ち上げると、両手を挙げて立ち上がるのです。解説を交えながら給餌を行う「お食事タイム」の際に、ラッコの全身をご覧いただき、体の特徴を説明するには絶好のパフォーマン



スです。短い時間ではありますが、前足と後足の形態の違いなどをご覧いただけます。

そして、「逆立ちするゴマファザラシ」。プール隅の水中で逆立ちをし、しばらくの間、そのままの姿勢で動かないことがあります。どうやら、この場所で頭を下にしているのが落ち着くようです。「体調が悪いの？」「はまるで動けないのでは？」など、ご質問をいただくことが多かったため、解説板を設置しました。



決して死んでいるわけではありません！ご安心を…

「Q&A」と「水族館おもしろ雑学」

お客様から寄せられたアンケートの中に、水生生物や水族館のことについての質問がよく書かれています。その質問に、一般のお客様にも公開して回答したら面白いのではないかと考え、平成12年度から館内に「水族館Q&A」として掲示しています。

「ラッコがしきりに頭の後ろをかいていました。かゆいんですか？」とか「カニの足が一本ありません。食べたの？」など、ユニークな質問をそのままタイトルに引用し紹介しています。



また「水族館おもしろ雑学」は平成14年当時、テレビで「うんちく」が話題となつてもはやされたこともあり、それにあやかるような形で掲示しました。Q&Aとは違い、一般に知られていない生物の特性や飼育、設備に関するなどを10数秒で読める字数に抑え、お客様に面白そうなネタを提供するというものです。トイレの個室や小便器の前に貼っておき、使用中に読んでもらおうという考えでスタートしました。内容は現在22種類あり、随時新しい情報が追加されています。これを読めばあなたは間違いなく『水族館通』になれるでしょう！



● 催し物

18年度ジュニアクラブの活動と次年度会員募集について

ジュニアクラブは、水辺の生き物たちに关心が有りもっと知りたいと思っている子供達に、水族館職員が日々感じている「生き物の面白さ、大切さ」を共有してもらうために、毎年行っている体験学習クラブです。18年度は少人数でしたが、熱心なメンバーが集まってくれたため、内容の濃い体験学習が実施できました。

クラブの活動は、毎年「イルカウォッチング」で始まります。これは、春に陸奥湾へ回遊してくる野生のイルカを観察するもので、6月18日に決行しました。9:35津軽半島蟹田港を出港して約15分後、3頭のカマイルカが現れました。左舷から矢のように接近した3頭は、船底



をくぐるようにして後方へと泳ぎ去ると、船の後にできた波でジャンプする姿が見られました。10:00下北半島脇野沢への入港を目前にした鯛島付近で15~20頭ほどの群を遠くに見ました。帰りの船では観察できませんでしたが、楽しい水上観察会でした。

7月29日の「サマースクール」では、水族館近くの海岸で生き物たちの生態観察を行いました。潮の引いた磯で身をひ



そめながら観察すると、タイドプールに取り残された生き物たちの様々な行動を見ることが出来ました。また持ち帰った生き物は、各自スケッチと種名調べを行い、参加した全員が何かしら新しい発見をして、自然観察を思いっきり楽しんだ1日でした。

11月26日の「イルカトレーナー1日体験」では、ショーの舞

台裏や訓練用プールの見学、なれない包丁を使っての餌作りや栄養剤の準備など、たくさんの体験をしました。ショーの見学後にはトレーナーに挑戦ましたが、実際に自分の合図でイルカを動かした体験は一生忘れられない思い出になった事でしょう。



浅虫水族館ジュニアクラブは、プログラムを4回にパワーアップして平成19年度会員を募集しています。

募集対象 水の生き物に关心があり、もっと知りたい
小学4・5・6年生の児童(定員40名)

「浅虫水族館ジュニアクラブ入会申込書」に必要事項をもれなく記入し、水族館受付まで直接申込んで下さい。「申込書」は、浅虫水族館受付に備え付けしている他に、浅虫水族館ホームページからもダウンロードできます。

(<http://www.asamushi-aqua.com>)

第21回 図画展 第6回 版画展

「海や川にすむ生物及び水族館」をテーマに、県内の中学生以下の児童、生徒を対象に図画展を10月14日から12月31日まで、版画展を1月1日から3月31日までそれぞれ開催しました。年々応募作品が減少傾向の状況でしたが、今回、図画展には参加園校、募集作品共に前回を上回る174園校、3,243点の作品が寄せられました。ご指導いただいた先生方をはじめ多くの関係者のご協力に感謝申し上げます。浅虫水族館では子供たち一人一人とのコミュニ

青森県知事賞

青森市立浅虫小学校
2年 小形明莉
「クマノミはかわいいね」



金賞全作品

(金賞全作品 左上から)

- 青森市立福田保育園 4歳 柳田ひなた
- 青森市立大野小学校 1年 三浦萌菜美
- 青森市立ときわ保育園 年中 三上 芙葉
- 十和田市立ちとせ小学校 2年 石沢 雨奈
- 十和田市立ちとせ小学校 3年 手代森大希

ケーションを大事にしていきたいと考え、開催期間中応募された作品の全てを参加園校別に図画展は1週間ずつ、版画展は1ヶ月ずつ

交替で館内に展示しております。
次回もたくさんの素敵なお絵描きに出会えることを期待しています。



～浅虫の海の生物たち～

(27) ウミサボテン

Cavernularia obesa

その姿や名前から植物のような印象を受けますが、れっきとした動物です。サンゴやイソギンチャクなどと同じ、刺胞動物というグループに属しています。

北海道西南部以南に分布し、内湾などの砂底や砂泥底に生息しています。自然界では昼間は体の大部分を砂中に退縮して隠し、夜間には50cm以上に伸びるという、日周期活動がみられます。水族館の展示ではこのままでは昼間にその姿をお客さんに見てもらえないことにならざるを得ないため、展示時間中でも伸びた姿が見られるように照明をやや暗くしたり、餌を与えたりしてその姿が見られるように工夫しています。

体は棍棒状で、表面に多くの小さなポリップがある冠

部と、ポリップがなく砂の中にもぐっている柄部とに分かれます。ポリップには8本の羽状の触手があり、プランクトンなどの小さな餌を捕らえて食べます。このポリップは一つ一つが個々の生き物で、多数のポリップが集まってひとつの大きな群体をつくっています。

夜間、伸びた体に触るとその部分から発光し、全体へ光が伝播していきます。とても幻想的な光です。



動物紳士録



スッポンモドキ

Carettochelys insculpta

オーストラリア北部やニューギニア島南部の河川や河口及び池沼などに生息しています。雑食性で魚や貝、果物などを食べます。ほとんど水中で過ごし、オール状の前肢を使ってじょうずに泳ぎます。硬い甲羅が無く皮膚に覆われてあり、スッポンと良く似ていますが、異なる種類として分類されています。成長すると甲長約70cmぐらいになります。別名「ブタバナガメ」と言われるよう、ブタのような鼻が特徴です。気性の荒いカメで、水槽の中で他の個体とけんかをしている姿を良く見かけます。

トゲヨウジ

Syngnathoides biaculeatus

本州中部以南、インド・太平洋域の暖かい海に分布しますが、平成18年10月1日に陸奥湾内の蓬田の藻場での地引き網で採集されました。流れの緩やかな内湾の藻場で見られ、流れ藻についていることもあります。体色は淡い緑色か緑褐色で、暗色の不規則な斑紋があります。海藻（海草）の中で動かさずいると、この体色と姿でまわりに溶け込んでしまい、見つけるのが困難です。ヨウジウオの仲間ですが尾びれがなく、タツノオトシゴ類のように尾部の先をものに巻きつけ、つかまるることができます。



2006年浅虫水族館のできごと

●ジュニアクラブ

- 6. 18 イルカウォッチング
- 7. 29 サマースクール「磯の生き物観察」
- 11. 26 イルカトレーナー一日体験

10. 14 第21回浅虫水族館図画展（～12／31日）

11 ペンギン教室（毎週日曜日）

11. 11 クリスマス特別水槽

11. 19 「あなたの夢、叶えます」第5回目実施

12 イルカふれあい教室（毎週日曜日）

12. 17 浅虫水族館クリスマスミニコンサート

12. 23 特別展示「ドクターフィッシュ」（～12／31）

12. 23 ラッコのお家にサンタがやってくる（24）

12. 27 浅虫水族館年末水槽大掃除

●催し物

- 1. 1 2006年浅虫水族館ニューイヤースペシャル（～1／22）
- 1. 1 第5回浅虫水族館版画展（～3／31）
- 2 ペンギン教室（毎日曜・祝日）
- 2. 15 特別展示White Day（あなたから彼女へ）水槽（～3／14）
- 2. 25 特別展示 白いマコガレイ（～5／8）
- 2. 25 卒業旅行は水族館で『イルカ』『ペンギン』と記念写真を撮ろう！（～3／31）
- 3. 4 浅虫水族館ファミリーデー（5）
- 3. 25 「海の中のカーリング大会」水槽展示（～5／7）
- 4. 22 ゴールデンウィークスペシャル（～5／7）
- 4. 22 特別展示 海の忍者「カレイ」展（～6／18）
- 4. 22 新マスコットキャラクター名前募集（～5／31）
- 6 夜の水族館見学会（毎週土曜日）
- 6 ラッコ教室（毎週日曜日）
- 6. 17 七夕水槽 「あなたの夢、叶えます」（～7／7）
- 7. 6 ウミガメ屋外プールへ移動
- 7. 1 わくわくドキドキ探検隊「水族館に泊まろう」（8）
- 7. 15 特別展示 縄文人と魚たち展（～9／24）
- 7. 15 サマーフェスティバル（～8／20）
- 7. 20 特別展示 「ドクターフィッシュ」（～8／31）
- 7. 23 新マスコットキャラクター命名式典
- 8. 7 「あなたの夢、叶えます」第1回目実施
- 8. 12 「あなたの夢、叶えます」第2回目実施
- 9 夜の水族館見学会（毎週土曜日）
- 9. 1 あさむし水族館オリジナル映像の公開（～10／31）
- 9. 7 「あなたの夢、叶えます」第3回目実施
- 9. 11 「あなたの夢、叶えます」第4回目実施
- 10 ラッコ教室（毎週日曜日）
- 10. 7 特別展 イルカたちの長い旅展（～1／14）
- 10. 7 わくわくドキドキ探検隊「水族館に泊まろう」（14）

●生物のできごと

- 2. 7 八景島シーパラダイス、鳥羽水族館へミズダコ搬出
- 2. 10 白糠よりアルビノ「エゾアワビ」搬入
- 2. 20 外ヶ浜町蟹田より両面白化「マコガレイ」搬入
- 2. 25 新江ノ島水族館へマボヤ搬出
- 3. 7 小樽水族館へマダラ他搬出
- 3. 9 大畑よりアツモリウオ他搬入
- 4. 15 小樽水族館よりオヒョウ搬入
- 6. 5 青森県増養殖研究所よりマダラ搬入
- 6. 26 大畑漁協よりオオカミウオ、ボウズギンボ搬入
- 7. 11 白糠よりスルメイカ搬入
- 7. 17 須磨水族園へマボヤ搬出
- 9. 11 尻労漁協よりスギ他搬入
- 10. 1 今別町砂ヶ森よりアオリイカ搬入
- 12. 6 青森県内水面研究所よりスギノコ、ヒメマス搬入
- 12. 17 横浜八景島シーパラダイスよりハナイカ他搬入
- 12. 21 横浜八景島シーパラダイスへミズダコ他搬出

●その他

- 1. 1 両生類コーナーニューアルオープン
- 3. 28 新マスコットキャラクター決定

表紙説明

キチジ

Sebastolobus macrochir

駿河湾からサハリン・千島列島の太平洋側の水深200m以深に生息します。当館では1984年に日本で初めて「生きたキチジ」を展示しました。高級魚として取引きされ、キンキン、キンキとも呼ばれます。

マリンスノー
No. 27

2007年3月発行

青森県営浅虫水族館

青森水族館管理株式会社

〒039-3501 青森市浅虫字馬場山1の25

TEL 017-752-3377

FAX 017-752-3379

<http://www.asamushi-aqua.com>